

開会のご挨拶

2026年7月10日

13:00~13:05

一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会
小島 薫

- 2015年5月 運輸ICTコンソーシアム設立準備会
(第1回 2015年5月～第10回 2016年1月)
発起人 株式会社フジタクシーグループ 梅村会長 (当時)
- 2016年5月 第1回「運輸デジタルビジネス協議会」12社
- **2016年8月「運輸デジタルビジネス協議会」設立総会**
 - 2017年4月 TDBC Forum 2017開催
 - 2018年4月 TDBC Forum 2018開催
- **2018年6月「一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会」**
 - 2019年4月 TDBC Forum 2019開催
 - 2020年6月 TDBC Forum 2020開催 コロナのためオンラインに
 - ～ 2026年7月 TDBC Forum 2026開催 (本日)

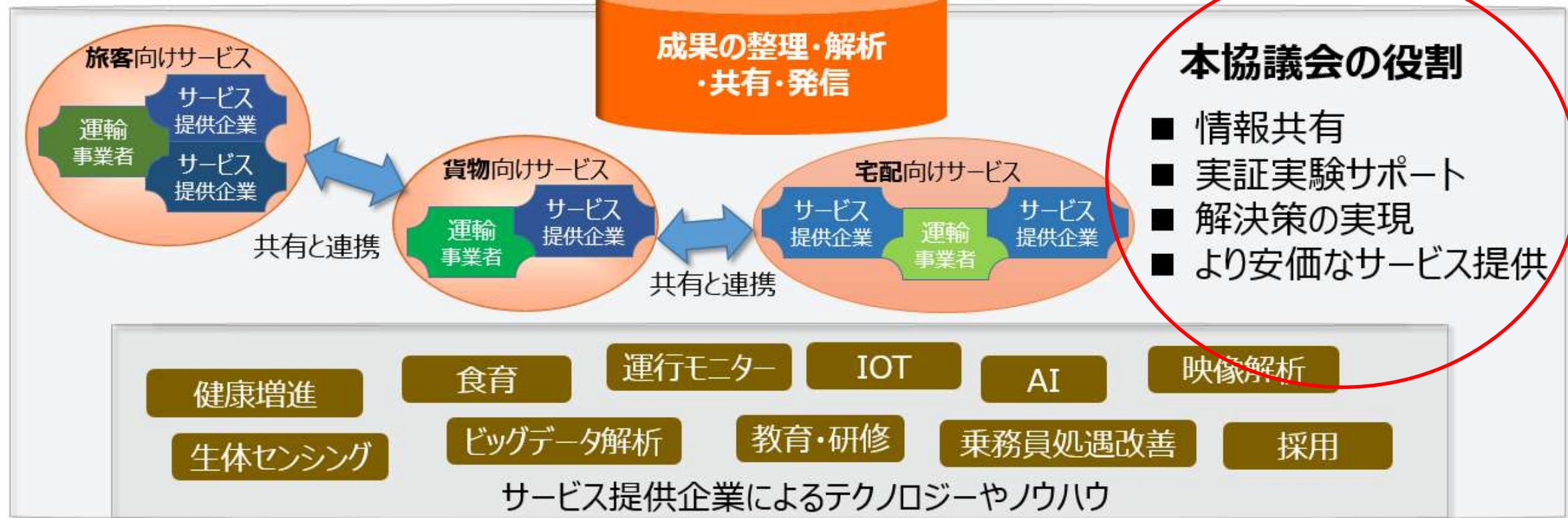
協議会による業界共通プラットフォームの構築

労働生産性向上 教育機会の創出 優秀人材の確保 革新的なサービス 安全運行の実現 乗務員の健康促進

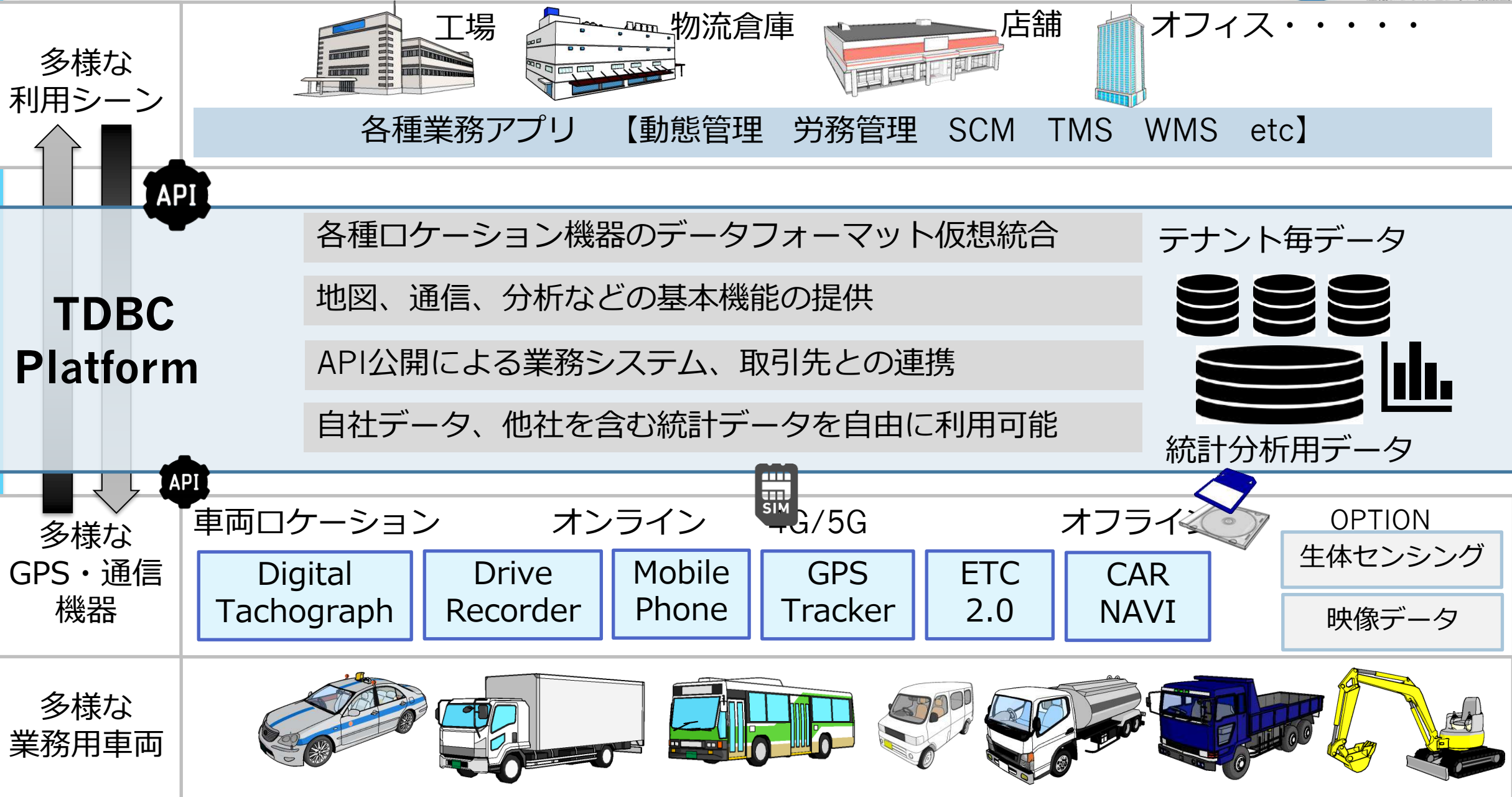
地域社会への貢献 交通インフラへの貢献 業界イメージの向上 自然環境への貢献 標準化によるコストメリット

出典：2016年8月9日開催
「運輸デジタルビジネス協議
会設立総会」資料からの抜粋

運輸業共通プラットフォーム



TDBCプラットフォーム概念図（2018年当時）



WG05 動態管理プラットフォームの実現

traevo
Platform

2022年9月

業界横断型動態管理プラットフォーム提供開始

<https://traevo.jp/top/ics/press/20220901/>

2022年1月

traevo

2020年7月

動態管理プラットフォームによる課

「各社サービスを統合する動態管理プラットフォーム」

荷主・運輸事業者・届け先

自社のみならず関連企業各社車両の位置情報を一元的に可視化する仕組み

車両動態管理プラットフォーム (API HUB)

API連携

A社製
ネットワーク型
デジタコ

B社製
動態管理サービス

API連携

C社製
ネットワーク型
デジタコ

D社製
動態管理サービス

API連携

位置情報
未提供車両

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

QZSS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

QZSS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

QZSS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

QZSS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

QZSS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

QZSS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

QZSS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

QZSS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

QZSS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

QZSS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

GPS

2019年7月～

物流現場のアナログな連



協力運送会社の
運行状況を
すべて把握！



経済産業省「令和元年補正 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（ビジネスモデル構築型）事業」として採択

https://portal.monodukuri-hojo.jp/common/bunsho/biz/1st/saitaku1ji_biz.pdf

https://tdbc.or.jp/docs/forums/2020/Forum2020_wg05A-2.pdf

物流の2024年問題の荷役等時間の短縮に貢献

○事例10（荷役等を行う人員の適切な配置）

イオン北海道

- 荷受け専門の要員が確保出来ない小売店舗においては、店員が店内オペレーションに忙殺されてしまうため、車両の到着に合わせた適切なタイミングで荷受け作業を開始することが難しいことが多く、待機時間、荷役等時間（店舗での滞留時間）を短縮することが課題となっている。
- そこで、トラック近接を音声と光で店員に報知する装置を導入し、着荷時刻が店舗に事前通知されることにより、店員がトラックの到着前に荷受準備をすることが可能となり、一部店舗への実証導入を通じて平均15%の荷役等時間の短縮を実現。
- 加えて、荷受けの際に店舗従業員が前もって搬入口に出て、近隣住民、顧客への安全配慮を行うことが可能となった。



出典：荷主判断基準の解説書取組事例集（ver.1.1）

「荷主の貨物自動車運送役務の持続可能な提供の確保に資する運転者の運送及び荷役等の効率化に関する判断の基準の解説書（事例集）」

https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/sippers-judgment-criteria-casestudies-book_ver.1.1.pdf

WG05A 共同輸送～フィジカルインターネットへ

2025年8月



荷主・運輸事業者向け共同
輸送相手の探索サービス
「traevo noWa」サービスイン
<https://traevo.jp/topics/press/20250806/>

令和6年度経済産業省補助事業(国土交通省連携事業)
「物流の2024年問題」を解決
する北海道内の共同輸送デジタルマッチング事業を受託
<https://traevo.jp/topics/press/20250129/>

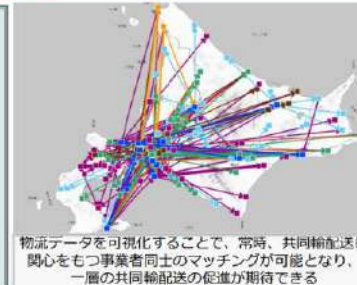
2024年12月

共同輸配送デジタルマッチング

- 経済産業省北海道経済産業局では、物流データの見える化による事業者マッチングを促進するため、関係機関と連携し、**全国で初となる共同輸配送デジタルマッチング事業を実施**する。
- 共同輸配送デジタルマッチングシステム上でのデジタルによる事業者マッチングを推進することにより、北海道内におけるより一層の共同輸配送の促進を図る。

共同輸配送デジタルマッチング事業の概要

- 事業内容：
共同輸配送デジタルマッチングによる動向分析・効果検証
混載や帰便の貨物手配などの共同輸配送に取り組む意向をもつ事業者を対象として、システム上で共同輸配送のデジタルマッチングを促すためのサービスを提供するとともに、北海道内における輸送情報の集約化・データ化を行う。
本事業を通じて得られた物流データ等を活用し、共同輸配送等の動向及びデジタルマッチングに関する効果検証を行う。
- 連携先：農林水産省北海道農政事務所、国土交通省北海道開発局・北海道運輸局、北海道
- 事業期間：2024年12月12日（木）～2025年1月31日（金）
- 事務局：一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会（TDBC）



2022年9月～

②.2023年度活動報告

3月より各社にて検証開始、既に引き続き個社間で対象ルート拡大

往復化③
中部興産 & 鈴与カーゴネット
CO2削減 : 38%
拘束時間削減 : 30%
車種 : ウイング 車格 : 25t



2021年7月

データ連携基盤と



共同輸送DBの構築と活用

<https://tdbc.or.jp/docs/forums/2024/wg05a.pdf>

2022年11月～2023年2月
経済産業省「フィジカルインターネット 百貨店WG」事務局

<https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/R4houkokusyo.pdf>

WG07 遠隔操作によるe建機®チャレンジ

2025年7月

関西万博シャインハット
e建機®チャレンジ2025

<https://tdbc.or.jp/working-group/2024/wg07/6886d84d3ec415c9adeea45e/>

2022年10月

e建機®チャレンジ大会 第1回

<https://www.constp.co.jp/constp/1708350>

2022年11月



2021年3月

②新しい人材の育成と建設業へ
ちば地域若者サポートステーション

『働く』へ一歩踏み出す

<http://chibasapo.jp/about/>

対象年齢 15歳から49歳に拡大
(以前は39歳まで、それ以上はハローワーク)



遠隔施工等実演会 ～施工DXチャレンジ2022～

- ～狙い～
- 災害対応・働き方改革と宇宙開発に資する革新的な施工技術力（人・技術）の研鑽
 - 各地整等や研究所のDX施策（人材育成、実機・フィールド整備、研究開発等）との連携
- 官民の各遠隔技術等を実演し、その効果と課題を共有。
→今後、継続的な技術研鑽の取り組みを目指す（年1回）

～実施方針案～

- ★Menu I：遠隔施工実演会
- 遠隔施工（ロボQ5等）で「基本操作（+応用動作）」を実施
- 基本操作、適宜、取付・取外（また、搬入・搬出）を実演
 - 目視や遠方操作、カメラ配置等の違い、有人操作との比較を通じて、操作性や安全性を検証
 - 各地整等（県民、協定企業等）より各地条件下で操作と取付等を実演 →工夫や課題を共有し、技術力向上を図る
 - 民間等の各種遠隔施工技術の実演、体験（Real & VR）
- ★Menu II：革新的施工技術実演（イノベーション）
- 革新的施工技術（3D-LIDAR、3D-Printing、3D-Mapping & Modeling等）を実演、体験

- 参加者：職員、建設企業、開発企業、研究者、マスコミ等
- 場所：国総研 & 土研DX実践フィールド+VR実演場
- 日時：R4.11.21(Mon) pm, 22(Tue) am & pm

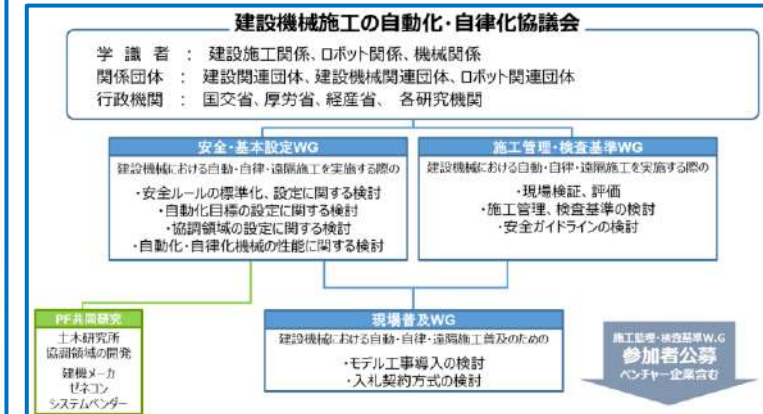
【遠隔施工実演のイメージ】



【革新的施工実演会（エキシビジョン）イメージ】



国土交通省「自動施工機械・要素技術SWG」メンバーとして選定



WG06（当時WG05B）伝票の電子化の実現

WingArc^{1ST} SVF

The Data Empowerment Company

帳票・運用製品のシェア 70%※
累計導入社数 42,000社
（2026年2月末時点）

※出典：デロイトトーマツミッド経済研究所株式会社発行ミッドITリポート2025年12月号「帳票設計・運用製品の市場動向2025年度版」図表2-5
【運用】製品/サービスのベンダー別売上・シェア推移2024年度実績 (https://micr.co.jp/micit/2025/)

2020年3月

実証実験概要



2023年3月 WingArc^{1ST}

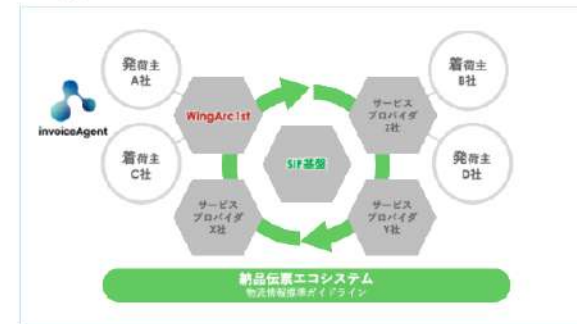


2025年3月 WingArc^{1ST}

④物流データの標準化の実施等により、物流に関する多様な主体との連携を通じた効率化のための取組の実施の円滑化を図ること
○事例17（物流情報標準ガイドラインに準拠した納品データの受け渡しによる荷役作業等の効率化）

食品、飲料メーカーと小売事業者間

- 物流のベースとなる納品伝票がデジタル化されていないことから、受け取った納品伝票を人の目による確認や人手によるシステムへの入力等非効率な作業が荷役現場や事務所で発生。他方、複数の発着荷主間で取引があることから、一社単独で独自システムを構築してしまうと取引先毎に対応が必要になる等、システム側での個別対応の工数や費用が係るためデジタル化の大きな障害となっていた。
- そこで、荷主及び運送事業者が連携し、既存の納品伝票発行のシステムを用いる物流情報標準ガイドラインに準拠した納品伝票エコシステム（invoiceAgent を活用）の活用により、納品伝票データの標準化、データ連携を実施。伝票電子化システムのサービスプロバイダが発着主と着荷主で異なる場合でも SIP 基盤を通じて納品伝票データのやり取りが可能となった。
- 納品伝票の情報を事前出荷情報（ASN）として荷受け側（小売事業者の物流センター等）で受け取ることが可能となったことで、受付けの納品伝票の確認やパースでの検品がほぼ不要となり、ドライバーの滞在時間の短縮が実現。また、受領書を受領データとすることで荷卸し後の作業の効率化及びペーパーレスの実現、環境負荷軽減に繋がった。



戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期スマート物流サービス

<https://www.pari.go.jp/PDF/e0b77fb6d7805231c3ce0a08365c5c3bc9af.pdf>

物流における生産ドライバーの労働時間実証実験実施

<https://www.pari.go.jp/common/001>

2019年4月

運行管理者/バックオフィス業務

- 変化する環境に対し「バックオフィス業務の効率化」

運行管理者
「この書類どこだっけ？」

「打つ終わりました」



【直面する問題点】
帳票の二重入力等があり、書類が属人化しやすい状況

[345573.pdf](https://www.pari.go.jp/PDF/e0b77fb6d7805231c3ce0a08365c5c3bc9af.pdf)

物流効率化法
荷主の判断基準 解説書事例集

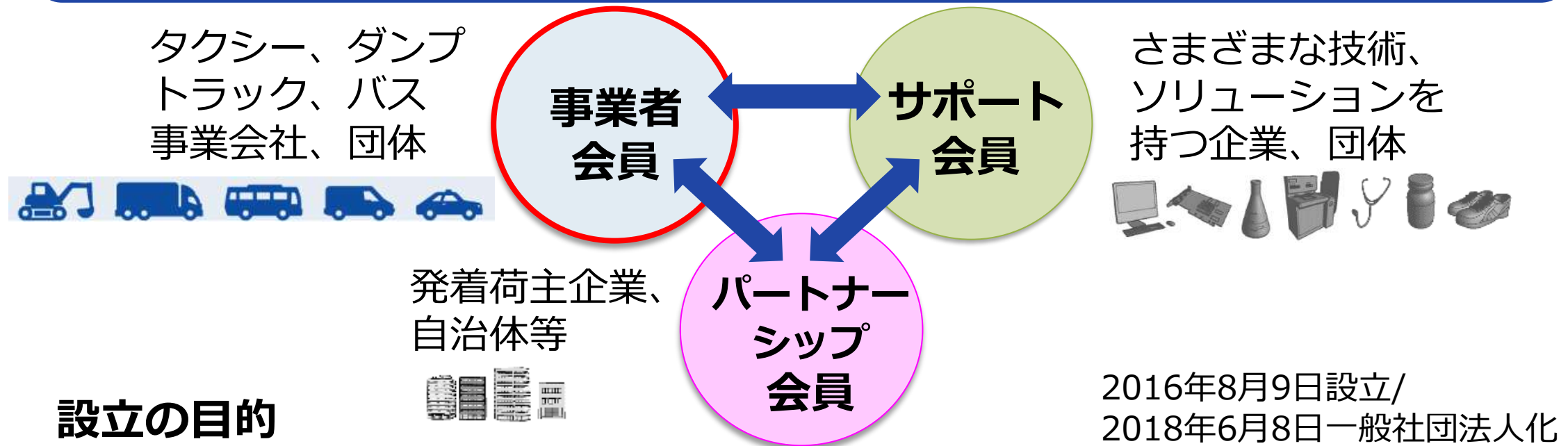
https://tdbc.or.jp/docs/forums/2019/WG05B_TDBCForum2019.pdf

https://www.meti.go.jp/policy/economy/distribution/sippers-judgment-criteria-casestudies-book_ver.1.1.pdf

設立の背景

運輸は産業や社会の基盤、中小企業が99%以上
さまざまな業界課題

① 1社では解決が難しい、② 同じ課題を各社で解決



設立の目的

運輸業界と、ICTなど多様な業種のサポート企業、およびパートナーシップ企業が連携し、デジタルテクノロジーを利用することで**運輸業界を安心・安全・エコロジーな社会基盤に変革し、業界・社会に貢献する**





運送会社の労働時間管理・安全管理支援クラウド



JICONAX

ジコナクス





これひとつで カンタン 管理

新機能も
総覧!!



運送会社向け管理システムの **決定版!!**



こんなお悩み、あなたもありますか？



✓ 労働管理が面倒!!
手間をかけたくない!

✓ 小さな事故やクレーム
がなくなる!!

✓ オフィス業務が煩雑!!
効率よくならないの?

✓ デシカ/ヤシタレは
左利き操作したい!

✓ 有効な業務員教育って
どうすればいいの?

✓ 運輸法の働き方改革って
何をすればいいの?

そのお悩み JICONAXが解決します!!

現場に送る
日報、記録

- 出勤記録
- 労働時間、教育記録
- 検査記録、運行記録
- 事故、クレーム

すべてクラウド上でひとつに



JICONAX
ジコナクス

グラフ、レポート

- 労働時間
- 事故発生
- 運行時間別
- 労務コスト削減

車両に関する
日報、記録

- 車両管理
- 走行記録
- 燃料、整備、修理記録

クラウド
アップロード

検定、メール通知

- 検定、メール通知
- 検定記録
- 検定記録

**様々な情報の管理を
集約して有効活用!!**

TDBC
認定

国土交通省・環境バス
特定ASVガイドライン適合(車検受検機関設置)

Mazda MOTOR CO., LTD.
MAZDA CORPORATION

あなたが見落としても、 **2.7**秒先の危険を 警告します。

後付けできる衝突防止補助システム モービルアイ

**販売実績6.5万台、平均80%の
前方追突事故削減を実現**

モービルアイはあらゆる状況で、衝突前に計測可能な「衝突回避補助システム」により、より安全なクルマの運転をサポートするテクノロジーとして開発されている。先方車の位置と速度に基づいて、正確な交通事象判断結果を算出しています。

ドライバーが距離判断を要する状況にアイコン表示と警報音で、先方の危険性を知らせず、適切な運転操作を促すことで交通事故を大幅に低減します。

Mobile Eye S20では衝突回避の距離短縮や誤検知抑制、全車検受検車への対応標準化(SUV・RC20)にも適合しています。

S20による車の価値向上を証明、安心して貴店での利用いただけます。

MazdaEye S20

販売店	整備店/販売店	検査官	登録業務担当者	代行店委託	遠隔店委託/委託
-----	---------	-----	---------	-------	----------

物流は新領域へ
LOGISTEED

ドライバーの安全に寄り添う

すべての運ぶに安全を

SSCV
Smart & Safety Connected Vehicle

Safety

3つの
ポイント

SSCV-Safetyは、ドライバーの健康と安全を同時に見守り、事故リスクを予測することができます。唯一無二のソリューションです

健康と安全を
見守る

事故リスクを
予測

精度と
使い勝手

13



一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会

<https://tdbc.or.jp/>

E-mail unyu.co@wingarc.com

TEL 03-5962-7370

協議会スポンサー

